

NEC

N 8 1 4 2 - 2 4 無停電電源装置

取扱説明書

お願い

製品をご使用になる前に本書を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。
本書は、必要なときにすぐに見られるように保管してください。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書の内容で冒頭の「安全に関わる表示について」と「使用上のご注意」は特に重要です。必ずお読みください。
- 本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。




©NEC Corporation 2004

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。









安全に関わる表記について（必ずお読み下さい）

本書では、本装置を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。これらの絵表示の箇所は必ずお読みください。また、事項の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、本製品をより安全にご活用下さい。

・安全性に関する注意事項

	危険	人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
	注意	人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。




・発生が想定される障害または事故の内容

	発煙や発火の可能性があることを示しています。		安全のために、火気の使用を禁止することを示しています。
	感電する可能性が想定されることを示しています。		安全のために、その行為を強制することを示しています。
	安全のために、その行為を禁止することを示しています。		安全のために、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。
	安全のために、本装置の分解を禁止することを示しています。		安全のために、接地（アース）線を必ず接続するよう指示するものです。







安全上のご注意（必ずお読み下さい）







無停電電源装置（N8142-24）を取り扱う上での、安全上の注意事項を表記致します。

・本体装置の用途




 警告	
 	<p>次の用途は使用禁止です。</p> <ul style="list-style-type: none">・人体 / 生命に重大な影響をおよぼすような医療機器の制御・きわめて高度な信頼性を要求される原子力 / 航空宇宙機器などの制御・工作機械の制御・交通機関（電車や自動車など）の制御や管制 <p>本装置は、19インチラックに実装して使用して下さい。</p>

・本体装置の取扱い




 危険	
 	<ul style="list-style-type: none">・引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。・本装置のバッテリーを火の中に入れてください。爆発したり、破裂したりする危険があります。
 警告	
 	<ul style="list-style-type: none">・教育を受けた保守員、または、専門業者以外は、本装置の19インチラックへの実装はしないでください。無理に持ち上げると腰を痛めたり、落としてけがをすることがあります。搭載作業は4人以上で実施願います。 質量：約58Kg・19インチラックを不安定な場所に設置しないでください。ラックが倒れ、重傷を負うことがあります。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">・ 19 インチラックをほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。・ 19 インチラックの吸排気口を塞がないでください。内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりか、火災の原因となります。・ 19 インチラックを直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に放置しないでください。熱により火災の原因となります。・ 19 インチラック内部でケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。・ 19 インチラック内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいものなどの異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合本装置正面パネルの OFF ボタンを押し、電源を切ってから電源ケーブルを抜き、保守員もしくは販売店にご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none">・ 保守員以外の方は、本装置の分解・修理・改造などしないでください。分解・修理・改造などすると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 本装置のお手入れの際は、感電することがありますので、本装置正面パネルの OFF ボタンを押し、電源を切ってから電源ケーブルを抜いてください。・ 本装置はバッテリーを搭載しているため、電源ケーブルを外した状態でも装置内部に危険な電圧が加わっている部分がありますので絶対、装置内部に触れないで下さい。・ 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電することがあります。・ 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本装置に触れないでください。感電することがあります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 本装置は、安全のため D 種以上の接地工事（接地抵抗 100 以下）が必要です。接地工事を行わない場合、感電することがあります。・ 本装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線をほかの接地線（とくに大電力を消費する装置など）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 電源は AC200V で 30A 以上のコンセント（NEMA L6-30）から直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。・ 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。本装置の電源仕様と合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読み下さい）

	<ul style="list-style-type: none">腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しないでください。腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。
 警告	
	<ul style="list-style-type: none">レーザープリンタを本装置に接続しないでください。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。

・ バッテリーの取扱い

 危険	
	<ul style="list-style-type: none">バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することも考えられます。万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。
	<ul style="list-style-type: none">バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。



警告



- ・ バッテリーは定期的な交換が必要です。周囲温度が 25 以上であったり、放電回数が多いと寿命が短くなります（周囲温度 40 : 0.8 年）。はやめの交換をお勧めします。寿命を過ぎたバッテリーを使用し続けると、発煙や火災の原因となります。



注意



- ・ バッテリーは必ずリサイクルして下さい。
バッテリーは法律で「特別管理産業廃棄物」に指定されています。むやみに廃棄することは禁止されています。適切なリサイクル施設にて処理するか、当社保守員、または、販売店にご相談下さい。



- ・ バッテリーは DC 1.92V / 5Ah の電力を有しています。取扱の際には、腕時計、指輪などの伝導性アクセサリを外して行って下さい。感電するおそれがあります。

安全上のご注意（必ずお読み下さい）

- ・ メンテナンスに関する取扱い

 警告	
 	<ul style="list-style-type: none">・ 保守員以外の方は、本装置の分解・修理・改造などしないでください。分解・修理・改造などすると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。
 	<ul style="list-style-type: none">・ 本装置のお手入れの際は、感電することがありますので、電源を OFF にしてから電源ケーブルを抜いてください。・ 電源ケーブルの抜き差しはプラグを持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが傷ついて火災や感電の原因となります。・ 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電することがあります。
 	<ul style="list-style-type: none">・ 本装置内部に水などの液体を入れないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合は、電源を OFF にしてから、電源ケーブルを抜いて、保守員もしくは販売店にご連絡ください。・ コンセント、ケーブル、本装置の背面コネクタは水などで濡らさないでください。感電や火災の原因となります。
 	<p>バッテリーは、定期的な交換が必要です。寿命を過ぎたバッテリーを使用し続けると、発煙や火災の原因となります。</p>
	<p>バッテリー 19.2V / 5Ah です。感電の危険性があります。設置、交換作業を行う場合は、事前に腕時計や指輪などの装飾品を外して、作業して下さい。</p>
 	<p>本装置は重いため、無理に持ち上げると腰を痛めたり、落としてけがをすることがあります。持ち上げ、移動、実装、取り外しは 4 人以上で行って下さい。質量：約 5.8 kg</p>

はじめに

このたびは、無停電電源装置（N8142-24）をお買い求めいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は、本装置を正しく使用するための取り扱いや接続方法を説明したものです。本装置は必ず19インチラックに実装して使用してください。実装作業は専門の業者に委託してください。お客様が実装作業を行うことで生じた問題に関しては責任を負いかねます。

尚、本装置は、AC入力に大電流が流せるNEMA L6-30Pコネクタを使用しており、通常のACコンセントではご使用になれません。そのため、お使いいただく際には、電源コンセントの工事が必要です。（1）

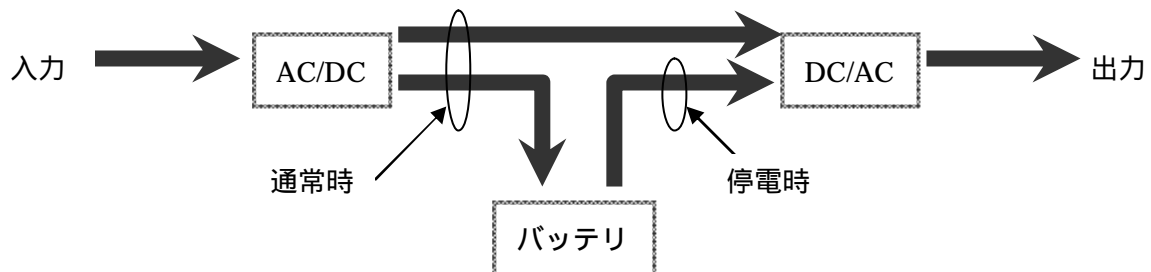
本装置をご利用される前に必ず本書を熟読してください。また本書を大切に保管してください。

日本電気株式会社

1：コンセントの工事は保守員または販売店にご相談願います。

無停電電源装置について

無停電電源装置（UPS）は、停電、電圧低下、サージなどの外部電源変動からコンピュータシステムを保護するものです。



本無停電電源装置は常時インバータ型 UPS といって、商用電源からの電力を常にコンバータ、インバータでそれぞれ電力変換を行ってコンピュータやその他の電子機器に供給し、同時にバッテリーを充電しています。商用電源が停電すると、この無停電電源装置は、内蔵バッテリーの電力を変換して供給します。バッテリー給電中は警報音を鳴らしていますが、残り少なくなると連続的な警報音に変わり、間もなくバッテリーが切れることを知らせます。商用電源の電圧が安全なレベルにまで回復すると、自動的に通常運転に戻します。

さらに別売の UPS 電源管理ソフトウェア（PowerChute Business Edition、ESMPRO/AutomaticRunningController & ESMPRO/AC Enterprise 等）を用いることで、商用電源の電圧状態に応じて、接続されているコンピュータを自動的にシャットダウンさせることができます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商用電源の変動対策について

この装置は、短時間の商用電源変動に対応する常時インバータ型の無停電電源装置ですが、商用電源が不安定であったり、サージ・ノイズなどの電源障害対策が必要な場合は、自動電圧調整器（AVR）などの設置をお勧めします。

海外でのご使用について

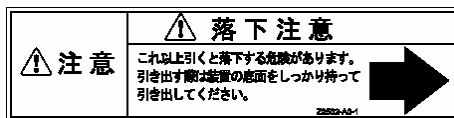
この装置は、日本国内仕様であり、海外各国の安全規格等の適用を受けておりません。したがって、製品を輸出した場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

警告ラベルについて

本製品に貼られている警告ラベルについて説明します。

本製品に貼られている警告ラベルは、本製品を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。（ラベルをはがしたり、汚したりしないでください。）

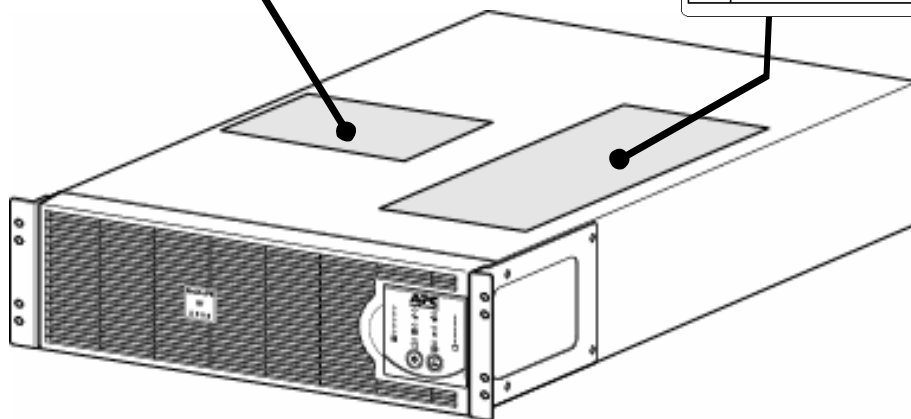
もし、ラベルが貼られていない、はがれている、汚れているなど判読不能な場合は、販売店にご連絡ください。



ご使用および保守の前、必ず取扱説明書をお読みください。また、注意事項は必ずお守りください。

警告	
⚠	保守員以外はカバーを開けないでください。感電のおそれがあります。
⚠	必ずアース線を接続してください。感電のおそれがあります。
⚠	医療機器など人命にかかわる用途に使用しないでください。
⚠	異常（異臭、異音）時はOFFボタンを押し、OFFした後に電源コードを抜いてください。火災のおそれがあります。
⚠	吸排気口を塞がないように実装してください。火災のおそれがあります。
注意	
⚠	本装置に内蔵されているバッテリーには寿命があります。寿命により、液漏れ・感電・火災のおそれがありますので、早めに交換してください。また、バッテリーの寿命は使用環境により短縮されます。
⚠	54kg以上につき四人以上で装置の底面を持って移動してください。一人で持ち上げて移動すると腰を痛めるおそれがあります。
⚠	移動時は前面パネルカバーを取り外してください。前面パネルカバーに手をかけると移動中に外れてけがをするおそれがあります。
⚠	ラック取付ブラケットには、脱落防止（ストッパー／ロック）機構がありません。装置をラックから取り出す際は装置の底面をしっかり持って引き出してください。

Z0600-A0-RT5000R3-1



目次

安全に関わる表記について（必ずお読み下さい）	i
安全上のご注意（必ずお読み下さい）	ii
はじめに	vii
無停電電源装置について	viii
警告ラベルについて	x
目次	x
第 1 章 使用上のご注意（必ずお読み下さい）	1
1.1 無停電電源装置の使用目的	1
1.2 梱包内容の確認	1
1.3 19 インチラック搭載について	2
1.4 取扱上の注意事項	3
1.5 メンテナンスに関する注意事項	4
第 2 章 セットアップを行う	6
2.1 無停電電源装置の設置について	6
2.2 セットアップ手順	7
2.3 ラックにマウントする	8
2.4 ラックから取り外す	9
2.5 UPS 管理ソフトについて	10
第 3 章 各部名称とはたらき	16
3.1 無停電電源装置正面パネルの説明	16
3.2 無停電電源装置背面パネルの説明	17
第 4 章 基本的な操作	18
4.1 運転開始・運転停止	18
4.2 セルフテスト	18
第 5 章 機能	19
5.1 バッテリ運転	19



5.2 バイパス機能.....	20
5.3 負荷のモニタリング	21
5.4 シャットダウンモード.....	21
第 6 章 メンテナンス.....	22
6.1 点検とお手入れ.....	22
6.2 無停電電源装置の保管.....	23
6.3 バッテリ交換について.....	23
第 7 章 故障かな?と思ったときは.....	25
<参考> APC ホームページについて.....	27
第 8 章 仕様.....	28
保守拠点一覧.....	付録

第1章 使用上のご注意 ～必ずお読み下さい～

本装置を安全に正しく使用していただくために、ここで説明する注意事項を必ずお読みください。注意事項を無視した取り扱いを行うと、装置が故障するばかりでなく、死亡・けが・やけど・感電などの人体事故、火災・周囲の機器の損傷を引き起こす原因となる場合があります。

1.1 無停電電源装置の使用目的

無停電電源装置は、一般事務室における事務処理用として開発されたものです。したがって、以下のような用途には使用禁止です。

 警告	
	<p>次の用途は使用禁止です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体 / 生命に重大な影響をおよぼすような医療機器の制御 ・きわめて高度な信頼性を要求される原子力 / 航空宇宙機器などの制御 ・工作機械の制御 ・交通機関（電車や自動車など）の制御や管制

1.2 梱包内容の確認

装置を設置する前にまず、以下のものが揃っているかを確認してください。万一不足しているものがありましたら、販売店へご連絡ください。

無停電電源装置（N8142-24）本体（電源コード一体型）

CD-ROM「N8142-24 無停電電源装置 取扱説明書」（本書）

フロントベゼル

通信ケーブル

保証書






ラック搭載用レールブラケット（別梱包）

- | | |
|------------------|-----|
| ・ラック搭載用レール | 2本 |
| ・レール取付用インチネジ | 10個 |
| ・レール取付用ワッシャー | 10個 |
| ・本体取付用ナット | 2個 |
| ・本体取付用インチネジ | 4個 |
| ・取付ブラケット(本体取付金具) | 2個 |
| ・取付ブラケット用ネジ | 8個 |
| ・クリート(レール引っ掛け金具) | 2個 |
| ・クリート取付ネジ | 8個 |

1.3 19 インチラック搭載について

本装置は必ず 19 インチラックに実装して使用してください。実装作業は専門の業者に委託してください。ラックに実装する際には添付の専用レールを使用し、最下段に実装するよう業者に指示して下さい。

お客様が実装作業を行うことで生じた問題に関しては責任を負いかねます。




 警告	
   	<ul style="list-style-type: none">・ 専門業者以外は、本装置の 19 インチラックへの実装は禁止です。無理に持ち上げると腰を痛めたり、落としてけがをすることがあります。質量：約 58K g・ 19 インチラックを不安定な場所に設置しないでください。ラックが倒れ、重傷を負うことがあります。・ 19 インチラックをほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。・ 19 インチラックの吸排気口を塞がないでください。内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりか、火災の原因となります。・ 19 インチラックを直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に放置しないでください。熱により火災の原因となります。・ 19 インチラック内部でケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。・ 19 インチラック内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいものなどの異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合本装置正面パネルの OFF ボタンを押し、電源を切ってから電源ケーブルを抜き、保守員もしくは販売店にご連絡ください。

ラックマウントタイプでは周囲温度(使用温度環境)が UPS の搭載されるラック内部温度となり、室温より 5~10 高くなるため、ラック内部の温度を確認し、期待寿命を推定願います。

装置から放射される電磁波の影響

本装置に限らずコンピュータと呼ばれるものは、その動作原理により装置から電磁波を放射します。とくに電波によるリモートコントロールを行っている機械の近くで本装置を使用した場合、機械の誤動作の原因となります。(携帯電話、PHS等も含まれます)このような機械のそばに 19 インチラックを設置する場合は電磁シールドなどの対策を講ずる必要があります。

1.4 取扱上の注意事項

 危険	
 	<ul style="list-style-type: none"> 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。 本装置のバッテリーを火の中に入れてください。爆発したり、破裂したりする危険があります。




 警告	
 	<ul style="list-style-type: none"> 保守員以外の方は、本装置の分解・修理・改造などしないでください。分解・修理・改造などすると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。
 	<ul style="list-style-type: none"> 本装置のお手入れの際は、感電することがありますので、本装置正面パネルの OFF ボタンを押し、電源を切ってから電源ケーブルを抜いてください。 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電することがあります。 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本装置に触れないでください。感電することがあります。
 	<ul style="list-style-type: none"> 本装置は、安全のため D 種以上の接地工事（接地抵抗 100 以下）が必要です。接地工事を行わない場合、感電することがあります。 本装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線をほかの接地線（とくに大電力を消費する装置など）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。
 	<ul style="list-style-type: none"> 電源は回し固定プラグ(NEMA L6-30P)のコンセントから直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。
 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーは、定期的な交換が必要です。周囲温度が 25 以上であったり、放電回数が多いと寿命が短くなります（周囲温度 40 : 0.8 年）ので、はやめの交換をお勧めします。寿命を過ぎたバッテリーを使用し続けると、発煙や火災の原因となります。

1.5 メンテナンスに関する注意事項

バッテリーリサイクル（バッテリーの交換および廃棄）について

本装置には短時間の停電などに対応するため、バッテリーを使用しています。尚、バッテリーの交換作業は保守員以外行わないで下さい。保守員以外が作業を行うことで生じた問題に関しては責任を負いかねます。

バッテリーの交換周期は通常使用時 2.5 年です。定期的に交換してください。詳細は「6.3 バッテリー交換について」を参照してください。

 危険	
	<ul style="list-style-type: none">・バッテリーは定期的に交換して下さい。バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することも考えられます。万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談して下さい。
	<ul style="list-style-type: none">・バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないで下さい。バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないで下さい。

バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。当社保守員もしくは販売店にご連絡ください。

本装置の改造および修理の禁止について

本装置は、バッテリーの交換作業や修理を、教育を受けた保守員が行うことを意図して設計されています。本装置の内部は高電圧部分などがあり、お客様がバッテリー交換作業や修理を行ったり、本装置のカバーを開けたりすると、保証の対象外となるばかりでなく感電などの事故の原因となります。

本装置の譲渡または売却時の注意について

本装置を第三者に譲渡または売却する場合は、本装置に添付されている全てのものを譲渡（売却）してください。また、本書を紛失された場合は、販売店にご連絡ください。

本装置の保証について

本装置には「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間内に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、弊社営業担当または代理店にご相談ください。詳しくは、保証書をご覧ください。

本装置の廃棄について

本装置を廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

第2章 セットアップを行う

この章では、本装置の設置、接続、セットアップ手順に従って説明します。本装置を使用する前に行っていただきたいことや、確認しておきたいことも書かれていますので、必ずお読みください。

2.1 無停電電源装置の設置について



本装置を正しく安全に使用するために、次の事項を守って設置してください。

- 19インチラックに搭載してご使用ください
第1章でもご説明しましたが、本製品は必ず19インチラックに搭載してご使用願います。搭載作業は専門業者に委託して下さい。
- 19インチラックは空調のある場所に設置してください。

本装置は、室内温度 10 ~ 35 、湿度 45% ~ 70% の範囲が保てる場所に設置してください。お客様の作業環境を考慮し、できる限り室内温度 17 ~ 28 の範囲が保てる場所でのご使用をお勧めします。

加湿器をご使用の場合、超音波式以外のものをご使用ください。

- 電源工事を行ってください
本製品は AC 入力に大電流が流せる「NEMA L6-30P コネクタ」を使用しており通常の AC コンセントではご使用になれません。そのためお使いいただく際には、必ず電源コンセントの工事が必要です。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">• レーザープリンタを本装置に接続しないでください。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。• 全装置を稼働させるシステムをテストして、本装置が過負荷状態にならないことを確かめてください。過負荷状態については、「5.3 負荷のモニタリング」を参照してください。

- 設置・移設・保管・接続に関する注意事項
腐食性ガスの存在しない環境で使用または保管しないでください。
腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発

火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

2.2 セットアップ手順

梱包内容と本装置の設置場所を確認したら、以下の手順で本装置をセットアップしてください。

0. 開梱し、梱包内容を確認する。

1. 本装置をラックにマウントして下さい。

2. 本装置の電源コードを商用電源コンセントに差し込みます。
入力サーキットブレーカを ON して、使用前にバッテリーを3~8時間充電してください。本装置は、商用電源に接続されている間は常にバッテリーを充電しています。

3. コンピュータ機器の電源コードを本装置のコンセントに接続してください。

4. 本装置正面パネルにある ON ボタンを押してください。
「3.1 無停電電源装置正面パネルの説明」を参照してください。

5. コンピュータ機器を起動します。
別売の UPS 管理ソフトを使用しない場合は完了。

6. UPS 管理ソフトに合わせたインタフェースケーブルをインタフェースポートに接続する。
「3.2 無停電電源装置背面パネルの説明」を参照してください。

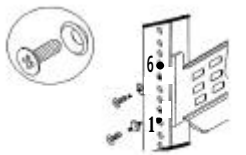
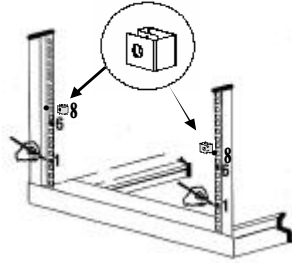
7. UPS 管理ソフトをインストールしてください。

8. UPS 管理ソフトを設定してください。
設定方法については、各 UPS 管理ソフトの取扱説明書を「ユーザズ・ガイド」を参照してください。

第2章 セットアップを行う

2.2.1 ラックにレールを取り付ける

レール取り付けの説明





左前ラックポスト



右後ラックポスト

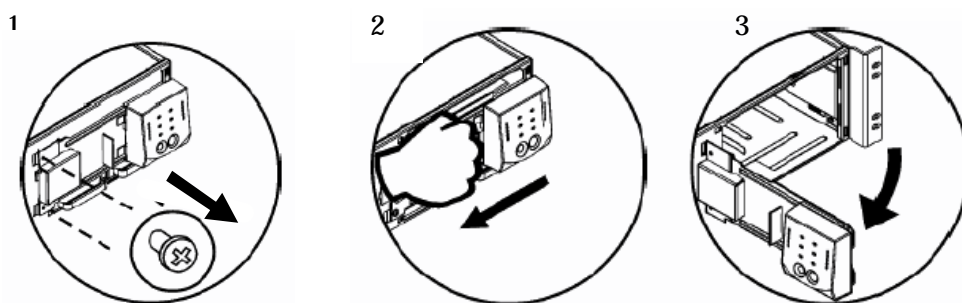
1. ラックのどこに UPS を設置するか決めます。
2. UPS 設置位置を確定した後、下から数えて1つめの穴に「1」、6つめの穴に「6」印をつけ、8つめの穴にクリップナット（前面のみ）を付けます。
3. 取り付けレールの下側の穴を UPS 設置位置の下側の穴「1」に合わせます。レールのクリップが内側の下部に重ならないようにレールの位置を調整します。
4. 穴「1」と「6」に平らなプラスネジとワッシャーを差し込みます。
5. レールを拡張して、前面ラックポストから後部ラックポストまで届くようにします。
6. プラスネジとワッシャーを3つ使用して、後部ラックポストの穴「1、3、5」にネジを取り付けます。
7. ステップ3-6を繰り返して、他のレールも取り付けます。

2.2.2 本装置をラックに実装する

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">・ 専門業者以外は、本装置の19インチラックへの実装はしないでください。無理に持ち上げると腰を痛めたり、落としてけがをすることがあります。質量：約 58K g・ 本装置の質量は約 58Kg です。作業は4人以上で実施してください。・ 19インチラックを不安定な場所に設置しないでください。ラックが倒れ、重傷を負うことがあります。・ 本装置を19インチラックへの実装する前にフロントマスクを取り付けしないでください。フロントマスクに手をかけると移動中に外れて、ケガをするおそれがあります

本装置は重いため、そのままラックに設置する場合には4人以上で行って下さい。
軽くするためには、本装置をラックに設置する際にバッテリーを外してください。

- 1 . バッテリーカバーのネジを2箇所外します。
- 2 . バッテリーカバーの取っ手を持って、下記図の矢印の方向にゆっくりとスライドさせます。
- 3 . バッテリーカバーを開けます。

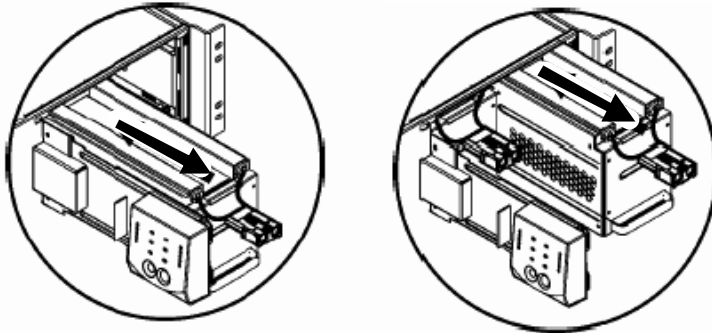


第2章 セットアップを行う

- 4 . バッテリコネクタを2箇所外します。
- 5 . バッテリトレイのハンドルをしっかりと持って、バッテリートレイをゆっくりと装置内部から半分ほど引き出します。次いで、バッテリートレイ底面をしっかりと持って、UPS内部からバッテリートレイを取り出します。バッテリートレイは2つあります。



1 本のバッテリートレイは約18kg です。2人以上で作業を行ってください。

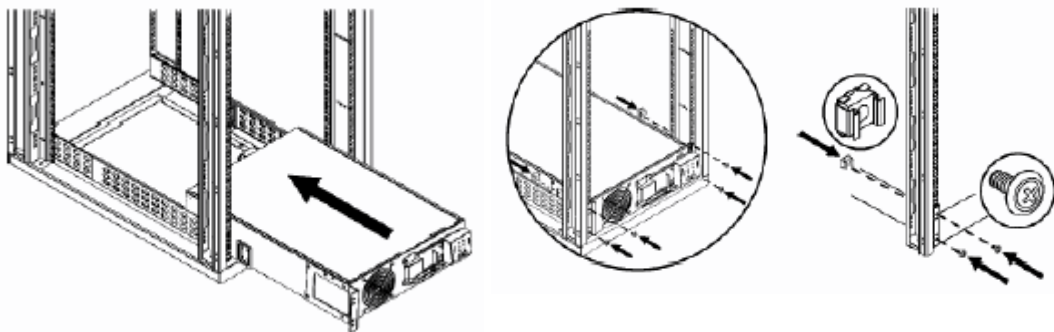


- 6 . バッテリカバーを閉じてから、バッテリーカバーの取っ手を持ち下記図の矢印方向にスライドさせます。

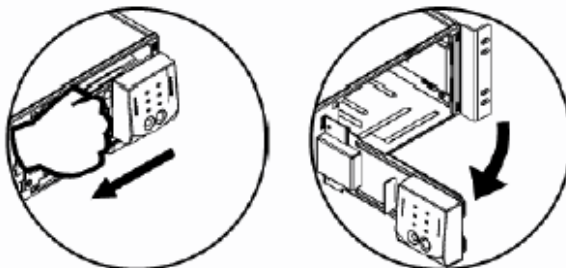
1 . UPS をレールに設置します。UPS の両側を支え、ユニットを慎重にレールに合わせます。UPS の各側面にはクリーツがあり、それをレールの溝にスライドさせます。各クリーツを溝に合わせ、UPS をスライドしてはめ込みます。レールキットに添付されているネジを使用してラックに取り付けます。



バッテリートレイを取り外した本装置の質量は約22kg です。UPS をレールに取り付ける際には、2人以上で行ってください。



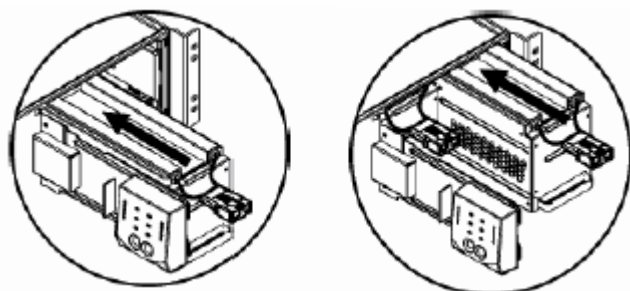
- 2 . バッテリカバーの取っ手を下記図のようにゆっくりと矢印方向にスライドさせ、バッテリーカバーを開けます。



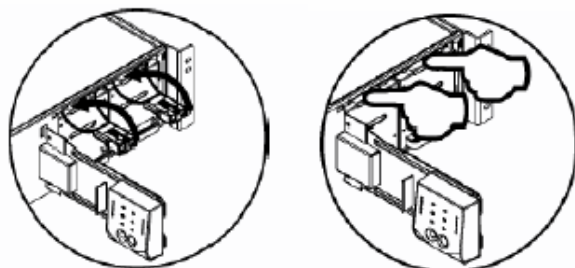
3 . バッテリトレイを装置に実装します。



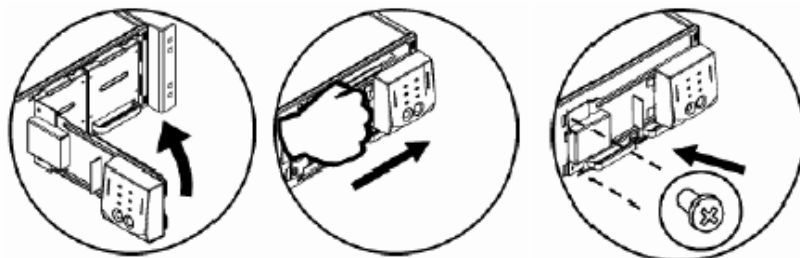
1 本のバッテリトレイは約18kg です。2 人以上で作業を行ってください。



4 . バッテリコネクタ 2 箇所を下記図のようにUPS 本体のコネクタと接続します。接続した後にコネクタが、しっかりと挿入されていることを確認してください。

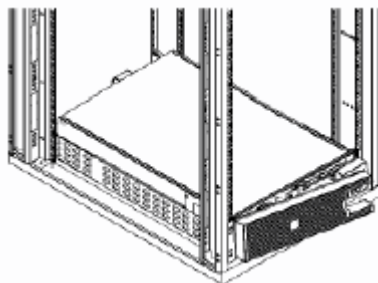


5 . バッテリカバーを閉じ、カバーの取っ手を下記図の矢印方向にゆっくりとスライドさせます。次いで手順1 で取り外したネジを使用して、バッテリカバーを下記図のようにネジで止めます。



第2章 セットアップを行う

6. フロントベゼルのフックがUPS 本体の取り付け溝に挿入されていることを確認し、フロントベゼルを静かに取り付けます。



2.3 ラックから取り外す



警告

- ・ 本装置の質量は約 58Kg です。作業は 4 人以上で実施してください。

1. UPS 装置が完全に停止 (OFF) し、電源が取り外されていることを確認願います。
2. 4 本の飾りネジ (各 UPS 取り付け耳に 2 本ずつ) を外します。
3. ラックの左右両側に 2 人ずつ (合計 4 人) 以上配置します。
4. 装置正面のハンドルを利用して、装置の前部を支えながら UPS を前方にスライドします。
5. UPS 装置上面の落下注意ラベル表示が見えたら一度スライドを停止し、しっかりと底部を支える。
6. 細心の注意を払い UPS をスライドし、後部を支えて完全にラックから外します。

フロントベゼルの外し方

UPS のフロントベゼルは以下の方法で取り外してください。無理に取り外すとフロントベゼルのつめが折れる場合があります。

ラックから UPS を約 5 cm 引き出します。

図のようにフロントベゼルの向かって右側と中央部にツメがありますので、この部分を下側に押し込みながら、フロントベゼルをゆっくりと取り外します。



2.4 UPS 管理ソフトについて

本装置から給電されているサーバ装置をシャットダウンや復電するための制御ソフトに関して説明します。

本装置の制御ソフトは以下となります。それ以外のソフトでの制御は動作保証されませんのでご注意ください。

また、本装置には、SNMP カード(N8180-32A 同等)が標準で搭載されております。導入前に必ず SNMP カードの TCP/IP 設定を完了する必要があります。

尚、TCP/IP 設定の詳細に関しましては、本装置に同梱されております SNMP カードの取扱説明書を参照下さい。

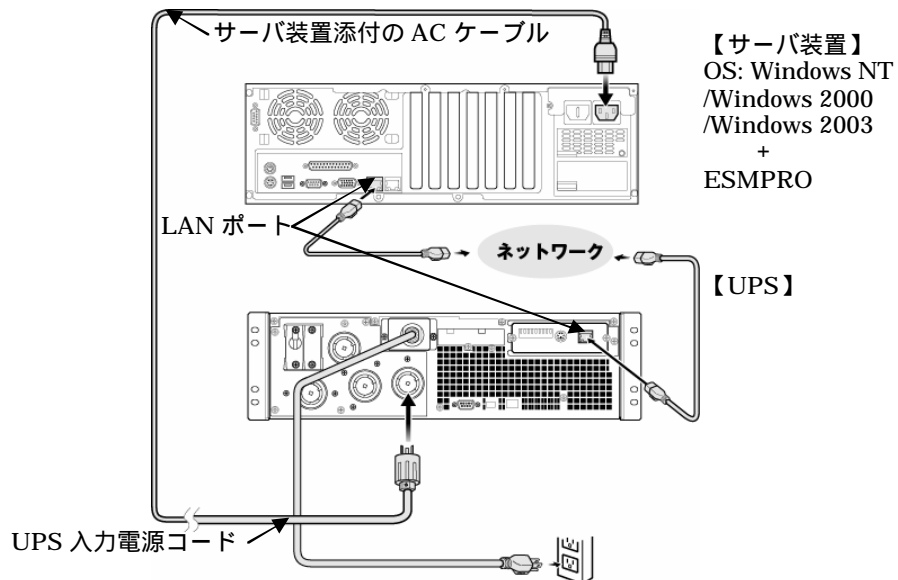
	COM port 経由で制御する場合*1	SNMP カード経由で制御する場合*1
Windows2000/2003 /XP	ESMPRO/UPSManager Ver2.0 以降(推奨) または PowerChute BusinessEdition Ver 7.0 以降	ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3 以降 + ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1 以降
Linux	ESMPRO/UPSManager Ver2.0 以降(推奨) または PowerChute BusinessEdition Ver 7.0 以降*1	ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver3.1 以降
備考	UL 型番の製品は全て接続ケーブル標準添付	ESMPRO/UPSManager および、PowerChute BusinessEdition は使用できません。

* 1 COM port 経由での制御と SNMP カード経由での制御は、いずれかを選択して使用してください。同時に使用しないでください。

第2章 セットアップを行う

LAN 経由で UPS を制御する

Windows 2000/2003 および Linux



【 Windows 2000/2003 への setup 方法 】

詳細は ESM PRO/AutomaticRunningController、ESM PRO/AC Enterprise に添付のセットアップカードを参照してください。

注) SNMP カード使用時は、ESM PRO/UPSManager、および、PowerChute Business Edition は使用できません。

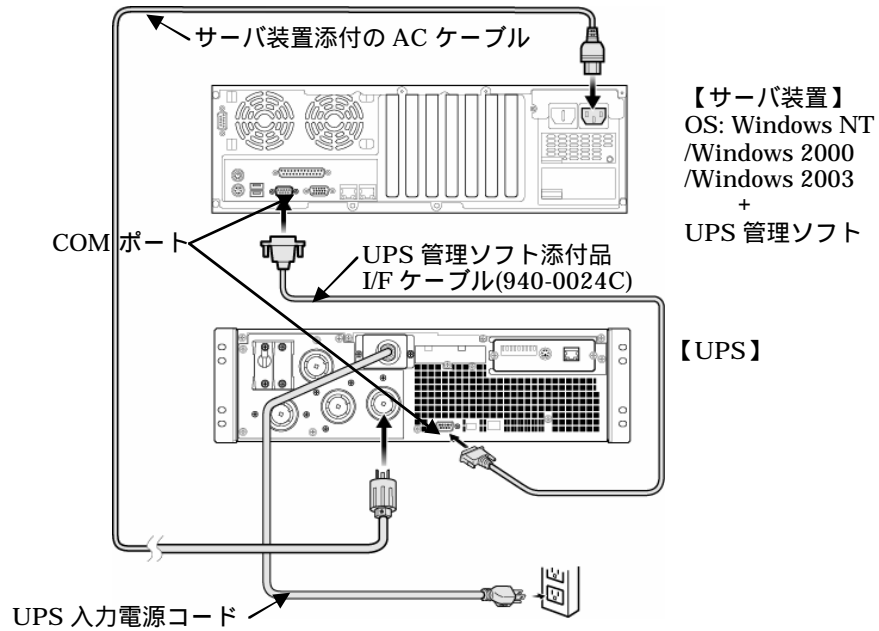
【 Linux への setup 方法 】

詳細は ESM PRO/AutomaticRunningController for Linux に添付のセットアップカードを参照してください。

注) N8180-32A SNMP カード使用時は、ESM PRO/UPSManager、および、PowerChute Business Edition は使用できません。

シリアル経由でUPSを制御する

Windows2000/2003 に UPS 管理ソフトを組み込んで使用する時



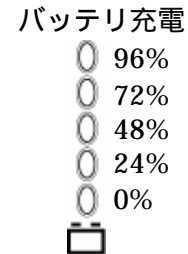
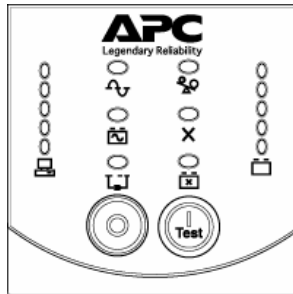
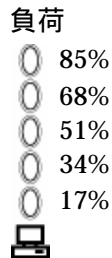
【 Windows2000/2003 の setup 方法】

詳細は ESMPRO/UPSManager、および、PowerChute Business Editionに添付のマニュアルを参照してください。

注) N8180-32A SNMP カード、および、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterpriseの使用はできません。

第 3 章 各部名称とはたらき

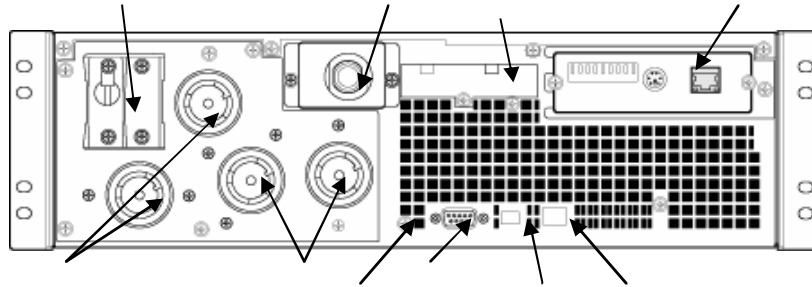
3.1 無停電電源装置正面パネルの説明

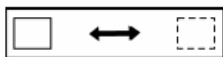





インジケータ	説明
オンライン 	オンライン LED は、接続された機器に電力を供給するために UPS が商用電源を取り込んで、ダブルコンバージョンになっているときに点灯します。
オンバッテリー 	UPS が接続された機器にバッテリー電力を供給しているときに点灯します。
バイパス 	バイパス LED は UPS がバイパスモードになっているときに点灯します。バイパスモードでの操作に切り替わると、接続された機器に直接商用電源が供給されます。 これは UPS の内部異常や過負荷状態が発生した場合、またはアクセサリや手動バイパススイッチによってユーザーがコマンドを実行した場合に切り替わります。UPS がバイパスモードになっている場合は、バッテリーによる電力供給はできません。本マニュアルの「トラブルシューティング」を参照してください。
異常 	UPS が内部異常を検出したときに点灯します。 本マニュアルの「トラブルシューティング」を参照してください。
過負荷 	過負荷状態になっています。「トラブルシューティング」を参照してください。
バッテリー交換 	バッテリーが未接続になっているか、交換が必要です。「トラブルシューティング」を参照してください。

機能	説明
電源オン 	このボタンを押すと UPS の電源がオンになります (その他の機能については以下参照) 。
電源オフ 	このボタンを押すと UPS の電源がオフになります 。

3.2 無停電電源装置背面パネルの説明



No.	名称	機能説明
	コンピュータ インターフェイスポート (RS-232C)	電源管理ソフトウェアがインストールされた PC と接続し、UPS の電源管理、システムのシャットダウンを実行します。(別売のソフトウェアもしくは、インターフェイスキットが必要です。)
	バイパススイッチ  ノーマル バイパス	手動でバイパス運転に切り替える際に使用します。入力電圧がバイパスポイント内であることを確認した後、切り替えてください。バイパスポイントの範囲外での切り替えは、UPS の出力は停止します。
	REPO ポート 	使用禁止
	SmartSlot™	UPS アクセサリカードを差し込みます。SNMP カード(N8180-32A 同等)が標準搭載されています。
	バッテリーコネクタ 	使用禁止
	入力アクセスパネル	ハードワイヤ接続する際に、入力アクセスパネルを外します。
	出力コンセント (L6-20P)	負荷機器の入力プラグ (L6-20P) を接続します。各コンセント当たり出力電流 16A まで接続することができます。
	過負荷保護ブレーカ (L6-20P 用)	L6-20R の過負荷保護用ブレーカです。L6-20R コンセント 2 個の電流値の合計が 30A 以上で動作します。
	出力コンセント (L6-30P)	負荷機器の入力プラグ(L6-30P)を接続します。各コンセント当たり出力電流 24A まで接続することができます。
	TVSS ネジ 	UPS には電話線保安器やネットワーク回線保安器など、サージ電圧抑制 (TVSS) 装置のアースリード線を接続する TVSS コネクタを備えています。TVSS コネクタは UPS の電源コードの接地線を通じてアースを提供します。

第 4 章 基本的な操作

この章では、本装置の基本的な操作について説明します。あらかじめ本装置を「第 2 章 セットアップを行う」で説明した手順でセットアップしてから操作してください。運転開始前に本装置の AC プラグをコンセントに接続し AC 給電して 3～8 時間充電してください。

4.1 運転開始・運転停止

◆ 運転を開始するには

電源が接続されている事を確認し、本装置正面パネルにある ON/TEST ボタンを押します。

すると、電力が供給され、本装置は信号音を鳴らしてセルフテストを行います。セルフテストについては、次節を参照してください。

◆ 運転を停止するには

本装置正面パネルにある OFF ボタンを押します。

4.2 セルフテスト

セルフテストは、バッテリーのチェックや本装置が正常に動作しているかを検査する機能です。本装置は、ON になったとき、また電源を切らないときは 2 週間ごとに自動的にセルフテストを行います（デフォルト設定）。セルフテスト中はバッテリーで接続機器を稼働させます。

セルフテストに問題がない場合は、商用電源に戻ります。

セルフテストに問題がある場合は、商用電源に戻り、短い信号音を 1 分間鳴らしてバッテリー交換 LED を点灯します。セルフテストに問題があっても、接続機器は影響を受けません。バッテリーの充電を一晩行ってから、セルフテストを再度実行してください。それでもバッテリー交換 LED が点灯する場合は、バッテリーを交換してください。

バッテリーの交換については、「6.3 バッテリー交換について」を参照してください。

◆ セルフテストを手動で行うには

本装置が商用電源に接続され運転している状態で、信号音が鳴り、オンライン LED が点滅するまで ON/TEST ボタンを押し続けます。

PowerChute Business Edition、Esmpro/AC 等に診断メニューからもセルフテストを実行することができます。詳細は各管理ソフトウェアの「ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

第 5 章 機能

この章では、本装置が持っている機能について紹介し、その概要を説明します。

5.1 バッテリ運転

機能

商用電源が閾値を超えたり停電が発生した場合は、自動的にバッテリーからの電源供給に切り替わり、接続機器の電源が突然切断されることを防止します。

動作

バッテリー使用中は、バッテリー使用中 LED が点灯し、警報音を 30 秒ごとに 4 回鳴らします。

商用電力が長時間停電し、バッテリーの容量が低下すると、本装置は連続的に警報音を鳴らします。この警報音は、バッテリーが消耗してシャットダウンするか、通常の商用電源運転に戻るまで鳴り続けます。

バッテリー動作実行時間について(参考値)

本装置のバッテリー動作実行時間の求め方を説明します。特に、接続されている機器が、シャットダウンに比較的時間を要するオペレーティングシステムを使用している場合、この実行時間は重要です。次の手順で実行時間を確認してください。

- 1 本装置が保護する機器の負荷をその機器のラベルまたは添付資料から確認してください。
- 2 各機器の値を加えて、負荷の合計を計算します。
- 3 次の表で、システムの負荷合計から実行時間を求めてください。

寿命末期は時間が短くなる為、余裕のある時間(50%程度)で設定してください。

負荷対バッテリー標準動作続行時間(分)

皮相電力	有効電力	バックアップ時間
1000VA	700W	47分
2000VA	1400W	21分
2570VA	1800W	15分
3570VA	2500W	9分
4280VA	3000W	8分
5000VA	3500W	5分

バッテリーの充電量はバッテリー残量/商用電源電圧モニタで確認できます。バッテリー残量/商用電源電圧モニタの見方については、「3.1 無停電電源装置正面パネルの説明」を参照してください。

5.2 バイパス機能

機能

バイパスモードに切り替ると、接続された機器に直接商用電源が供給されます。これは UPS の内部異常や過負荷状態が発生したことによって、または手動バイパスによる切り替え操作およびアクセサリからユーザーがコマンドを実行した際に切り替ります。UPS がバイパスモードになっている場合は、バッテリーによる電力供給ができません。

動作

バイパス運転中はバイパス LED が点灯します。 (「3.1 無停電電源装置正面パネルの説明」を参照してください。

通常運転(インバータ運転)からバイパス運転への移行条件は次のとおりです。

- ・ 通常運転からバイパス運転への移行可能電圧 200V + 10%以内
 - 30%以内

この移行電圧は、UPS 管理ソフトの動作パラメータを変更すると変わります。UPS 動作パラメータの設定についての詳細は「ユーザズ・ガイド」を参照してください。

5.3 負荷のモニタリング

機能

本装置正面パネルの左側にある負荷モニタで給電レベルをパーセントで表わします。 (「3.1 無停電電源装置正面パネルの説明」を参照してください。

動作

UPS が過負荷状態のとき、過負荷 LED が点灯し、警報音を鳴らします。この警報音は、過負荷状態を解決するまで鳴り続けます。

5.4 シャットダウンモード

機能

シャットダウンモードでは、接続機器への電力供給を停止して、商用電源の電圧が正常に戻るまで待機状態になります。

動作

商用電源の停電時に、コンピュータインターフェースポートに接続しているサーバなどから UPS にシャットダウン信号を発信することができます。これは、通常、UPS のバッテリー容量を保存するために行われます。シャットダウンモードの UPS は、正面パネルの表示灯を順次スクロールさせます。

UPS シャットダウンパラメータの設定については、UPS 管理ソフトの「ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

第 6 章 メンテナンス

この章では、日常のお手入れや定期的な点検やバッテリー交換などについて説明します。

6.1 点検とお手入れ



本装置をよりよい状態でご利用いただくために、次の事に注意して定期的に点検してください。



- 本装置正面パネルにある各種 LED が壊れていないか点検してください。
- 設置されている部屋の温度や湿度を点検してください。
- 本装置のお手入れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい所は、水か中性洗剤を布に含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。
シンナー、ベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学雑巾は使用しないでください。
外装を痛めたり、故障の原因となることがあります。
- 年に一度、ケーブルや電源コードがすり切れていないか、変質しているところがないか点検してください。
- 設置・移設・保管・接続に関する注意事項

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しないでください。

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">• 保守員以外の方は、本装置の分解・修理・改造などしないでください。分解・修理・改造などすると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。

	<ul style="list-style-type: none"> • 本装置のお手入れの際は、感電することがありますので、電源を OFF にしてから電源ケーブルを抜いてください。 • 電源ケーブルの抜き差しはプラグを持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが傷ついて火災や感電の原因となります。 • 濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電することがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 本装置内部に水などの液体を入れしないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合は、電源を OFF にしてから、電源ケーブルを抜いて、保守員もしくは販売店にご連絡ください。 • コンセント、ケーブル、本装置の背面コネクタは水などで濡らさないでください。感電や火災の原因となります。

6.2 無停電電源装置の保管

本装置を長期間保管する場合は、次の事に注意してください。

- 保管前は、バッテリーを十分に充電してください。少なくとも 3 時間は充電してください。バッテリー充電後、バッテリーコネクタを外してください。(「2.2.1 ラック搭載仕様への変更」バッテリー取り外し参照ください)
- 温度が低く乾燥した場所に保管してください。
- 周囲温度が -15 ~30 の環境で保管する場合、6 ヶ月ごとにバッテリーを充電してください。周囲温度が 30 ~45 の環境で保管する場合は、2 ヶ月ごとにバッテリーを充電してください。

6.3 バッテリー交換について

バッテリーの寿命

本装置では、バッテリーを使用しています。このバッテリーには寿命があり、蓄電池工業会からバッテリー寿命が定義されています。バッテリーの寿命を越えた状態で使用された場合、停電時にバックアップできなくなるばかりでなく、思わぬ障害を発生させる原因となります。ですから予防保全のために、はやめの交換をお勧めします。




なお、バッテリーの寿命は使用温度条件や放電回数によって大きく変化します。特に温度による影響は大きく、使用温度によって以下のように短縮されますのでご

ご注意ください。

使用温度環境	環境期待寿命	バッテリー交換時期
20	3 年	2.5 年
30	1.5 年	1.2 年
40	1 年	0.8 年

周囲温度が 10～25 の範囲内で管理することをお薦めます。特に 24 時間システム等、重要業務に使用される場合は、交換周期を早めていただくようお願いします。また、本装置周辺の荷物の積み上げなどで換気が妨げられた場合は、バッテリーの温度が上昇し、寿命がより短縮してしまいますのでご注意ください。

複数台の積み上げによる温度上昇がある場合は、1U 間隔を空けると効果があります。

 警告
<div style="display: flex; align-items: center;">   <div style="margin-left: 10px;"> <p>バッテリーは、定期的な交換が必要です。寿命を過ぎたバッテリーを使用し続けると、発煙や火災の原因となります。</p> </div> </div>

バッテリーの寿命判断について

基本的には環境温度による推奨交換時期を守ることをお勧めしますが、次の方法でもバッテリー寿命の判断方法として活用できます。

- ・ フロントの “ バッテリー交換 LED ” の点灯。(「3.1 無停電電源装置正面パネルの説明」を参照してください。
- ・ UPS 管理ソフトのイベントログに “ バッテリー交換(Battery Replace) ” のメッセージが記録されている。
- ・ セルフテストの実施(「4.2 セルフテスト」参照してください)
但し “ バッテリー交換 LED ” が点灯または “ バッテリー交換 ” のメッセージがイベントログに記録されている時は、実施しないでください。






バッテリー交換作業

バッテリーの交換作業は教育を受けた保守員が行います。

バッテリー交換の際は、保守員もしくは販売店に使用装置名と対応する交換部品名を教えてください。

装置名	交換部品名
N8142-24	バッテリーパックセット EF-7218Z

- 購入時は 3～8 時間のバッテリー充電を行ってください。電源ケーブルのプラグを商用コンセントに接続し、3～8 時間充電してください。
- 停電によりバッテリーが完全放電してしまうと元に戻すために 3～8 時間の「回復充電」が必要となります。再度の停電に備えて、常時充電を行い、いつもバッテリーを満充電状態にしてください。

 注意	
 	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーは必ずリサイクルして下さい。 バッテリーは法律で「特別管理産業廃棄物」に指定されています。むやみに廃棄することは禁止されています。適切なリサイクル施設にて処理するか、当社保守員、または、販売店にご相談下さい。
 	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーは DC 19.2V / 5 Ah の電力を有しています。取扱の際には、腕時計、指輪などの伝導性アクセサリを外して行って下さい。感電するおそれがあります。

第7章 故障かな？と思ったときは

この章では、本装置使用中のトラブルについて対処方法を説明しています。

本装置を使用中に「故障かな？」と思われる症状が起きたら、まず、以下の項目を参考にしてチェックしてください。該当する項目がない場合や「対策」を行っても症状が改善されない場合は、保守員または販売店へご連絡ください。

トラブルと原因	対策
UPS が ON にならない <ul style="list-style-type: none"> ON/TEST ボタンを押していない。 UPS が商用電源に接続されていない。 UPS の過電圧保護ブレーカが OFF している。 商用電源電圧が非常に低いか、存在しない。 バッテリーの接続が完全でない。 	ON/TEST ボタンを押してください。 電源ケーブルが UPS とコンセントに完全に接続されているかを点検してください。 装置を UPS から外して負荷を減らし、過電圧保護ブレーカ(UPS の背面)を ON してリセットしてください。 UPS へ入力されている商用電源電圧を点検してください。 バッテリーの接続を確認してください。
UPS が OFF されない。 <ul style="list-style-type: none"> UPS 内部に問題がある。 	UPS を使用しないでください。UPS を電源から外し、直ちに保守員または販売店へご連絡ください。
外部電源に電圧が存在するのに、UPS がバッテリー運転する。 <ul style="list-style-type: none"> 電圧が高すぎる、低すぎる、または変動がある。低価格の燃料発電機を使うと電圧が変動する場合があります。 	UPS を別の回路にあるコンセントに移してください。
UPS の警報音が時々鳴る。 <ul style="list-style-type: none"> 正常動作。 	トラブルではありません。UPS が負荷装置を保護しています。
UPS のバックアップ時間が短い。 <ul style="list-style-type: none"> UPS のバッテリー容量が最近の停電で低下しているか、バッテリーが交換時期である。 	バッテリーを充電してください。長時間停電した後はバッテリーの充電が必要です。また、頻繁に使用したり、高温で作動すると早く消耗します。バッテリーを十分に充電してもバックアップ時間が短い場合は、バッテリー交換 LED が点灯していなくてもバッテリーを交換してください。

トラブルと原因	対策
UPS のバックアップ時間が短い。 • UPS が過負荷状態にある。	UPS の負荷ディスプレイを点検してください。プリンタ等の負荷が大きい装置を外してください。
表示灯がすべて点滅し、UPS が継続的な信号音を鳴らす。 • UPS 内部に問題がある。	UPS を使用しないでください。UPS を OFF にし、直ちに保守員または販売店へご連絡ください。
UPS が電源コンセントに接続されていて、表示灯がすべて消灯している。 • UPS がシャットダウンしていて、バッテリーが長時間の停電で放電している。	トラブルではありません。入力電圧が回復し、バッテリーが十分に充電されると UPS は正常に作動します。
交換バッテリー LED が点灯している。 • バッテリー容量が低下している。	バッテリーを 3~8 時間充電してください。充電後も状況が変わらなければ、バッテリーを交換してください。
交換バッテリー LED が点滅している。 • 交換したバッテリーが完全に接続されていない。	バッテリーの接続を確認してください。それでも状況が変わらなければ、バッテリーを交換してください。

<参考> APC ホームページについて

APC ホームページのサポート&サービス (<http://www.apc.co.jp/sands/>) では、お客様へより迅速で適切なソリューションをご提供できるよう、次の各種サポートページを開設しております。ぜひ、ご活用ください。

マニュアルダウンロード

最新版の各種マニュアル ファイル (ユーザーズガイド・インストールガイド・リリースノート) をダウンロードいただけます。

ソフトウェアダウンロード

各種 APC 製品および修正モジュールをダウンロードいただけます。

FAQ

各種 APC 製品の FAQ をご覧いただけます。

製品に関する情報が Q & A 形式で紹介されております。

オンライン トラブルシューティング

Web 上からお客様のご質問をお受け致します。



第8章 仕様

項目		
型名		N8142-24
給電方式		常時インバータ・力率補正を伴うダブルコンバージョン方式
入力 1	定格入力電圧	AC200V
	定格周波数	50/60Hz (自動検出)
	許容入力電圧	AC160 ~ 280V
	許容入力周波数	45~65 Hz
	最大入力容量	5000VA
	最大入力電流	25A
	入力プラグ形状	回し固定プラグ (NEMAL6-30P)
	入力ケーブル長	290cm
	入力力率	0.95 以上
消費電力	消費電力(通常)	305W
出力	定格出力容量	5 kVA/3.5 kW
	定格出力電圧	AC200V
	出力電圧精度	± 1% (静的) ± 5% (動的)
	出力周波数	50/60 ± 3Hz(初期設定)、50/60Hz ± 0.1Hz (設定可能)
	出力コンセント形状	L6-30R × 2 個, L6-20R × 2 個
	電圧波形	3%以下 (線形負荷) 5%以下 (非線形負荷)
	最大負荷時効率	92%
	減衰されるノイズファクタ	3 : 1
	過負荷耐量	105% (検出) 125% (1分間) 150% (30秒間)
	停電切り替え時間	無瞬断
	バイパス種類	自動バイパス/手動バイパス
	バイパス切り替え時間	6ms (標準)
	出力波形	フィルタリングされた正弦波
バッテリー	バッテリータイプ	小型シール鉛蓄充電
	バッテリーの期待寿命	3年 (本装置の周囲温度 25 °C の時)
	バッテリー容量、1トレイ当たり (V/AH)	96/5 (2トレイ使用)
	バッテリー個数・定格 (20時間率)	16 個・12V/5AH
	90%までの充電時間 (UPS内蔵バッテリー)	3 ~ 8 時間
寸法・質量	高さ × 幅 × 奥行き (mm)	130 × 432 × 705
	正味質量 (kg) 注 2	約 58
	梱包質量 (kg)	約 68

第 8 章 仕様

環境	使用環境	最大高度 3,000 メートル (10,000 フィート) 湿度 0~95%、摂氏 0~40 *結露の無いこと
	保管環境	最大高度 15,000 メートル (50,000 フィート) 湿度 0~95%、摂氏 -15~45 *結露の無いこと
	発熱量 (KJ)	1098 (通常)
	1m の距離での可聴ノイズ	55dBA 以下

- 1 : バッテリーを消耗せずインバータの能力で補正できる商用入力範囲
- 2 : 負荷は V A、W どちらも定格内になるよう計算して接続して下さい。